



エントランスポール
Archi Frame
アーキフレーム

施工説明書
天板(LEDユニット付)
天板(LEDユニットなし)

- このたびはパナソニック製品をご採用頂き、まことにありがとうございます。
- 施工説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。
特に「安全上のご注意」は、**施工前に必ずお読みください。**
 - 施工説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
 - この商品は日本国内専用品ですので、日本国外での設置はしないでください。
 - 同梱されている取扱説明書は必ず施主様へお渡しいただき、使用方法、メンテナンスなどの説明をしてください。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

 警告			
 分解禁止	商品の仕様および用途変更・改造は絶対にしない けがの発生や事故のおそれがあります。		 必ず守る 商品の施工は、施工説明書に従い確実に行う 火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。
 注意			
 禁止 ポール下部の水抜き穴はふさがない 雨水の浸入により漏電、感電、故障、腐食などの原因と なります。	 必ず守る 主電源を切ってから施工を行う 感電のおそれがあります。		
 必ず守る LEDユニットの、100V電源は漏電ブレーカーを 介して接続し、D種(第3種)接地工事を必ず実施 する 感電事故のおそれがあります。	施工後、ねじ類の締め具合をもう一度点検する ねじ締め不足により、思わぬ事故が起きたり、 故障の原因となります。 部材が重量物の場合、運搬・取付作業は2人以上で行う けがのおそれがあります。		

施工上のご注意

⚡ 禁止	通行の妨げとなる場所には設置しないでください。 けがの原因となります。 ※特に扉・宅配ボックスの扉を開いた時に道路や通路 の通行の妨げにならないようご注意ください。	⚡ 必ず守る	基礎穴および埋め込み深さは基準通りに 設けてください。 強度不足によりけがのおそれがあります。
	商品にはぶら下がらないでください。 けが・故障の原因となります。		商品に付着したリシンやモルタル・コンクリート などは速やかに清掃してください。 塗装がはげたり、腐食の原因となります。
	固いものを当てたり、強い衝撃を与えないでください。 表面に傷をつけると、腐食の原因となります。		アルミ製品に銅板やラスなどの異種金属が 接触しないように絶縁処理をしてください。 アルミの腐食促進作用があります。
	モルタル急結剤、海砂などでは使用しないでください。 アルミの腐食促進作用があります。		ポール内への水溜まり防止のため、 基礎部に栗石を敷いてください。 電気部品の故障の原因となります。
	施工時の汚れ落としにシンナー、 塩酸などは使用しないでください。 腐食の原因となりますので中性洗剤を使用してください。		
	ホースによる直接の水洗いはしないでください。 故障の原因となります。		

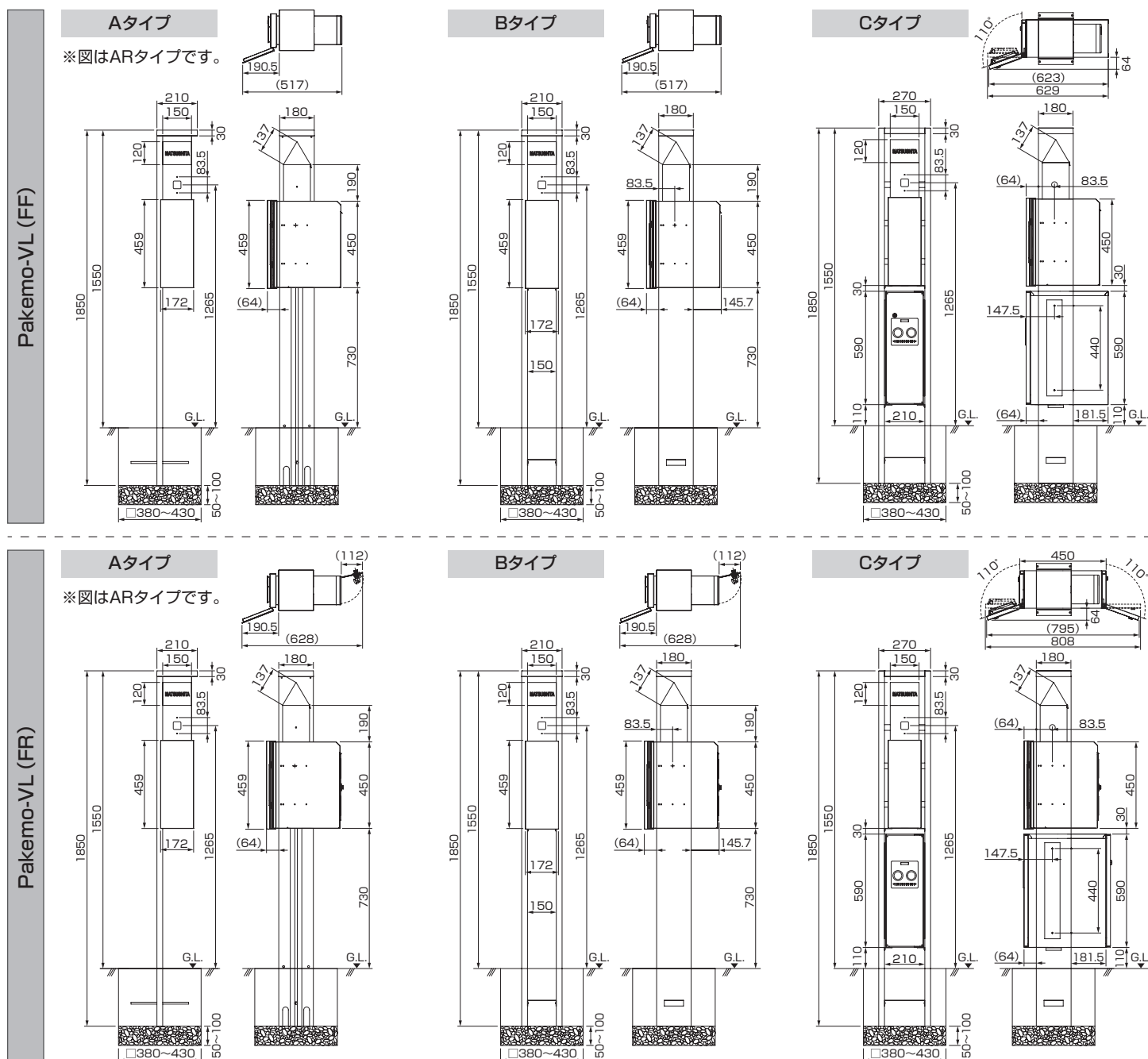
同梱部品

		Aタイプ	Bタイプ	Cタイプ	Dタイプ	Eタイプ(受注品)	Fタイプ	Gタイプ	Hタイプ	
側化粧パネル		・側化粧パネル 1枚 ・LEDユニット用ねじ M4×8 皿小ねじ D6 2本 ・ポスト／台座用ねじ M4×8 皿小ねじ D6 3本 2個ずつ ワッシャナット	各1 Set	――						
(ポール取付済) 取付ねじ 後付商品用に使う	ドアホン用 M4×10ステン ポスト取付用	各2本							――	
		各4本								
	宅配取付用	――	・本体用 8本 ・補助金具用 4本		――		・本体用 8本 ・補助金具用 4本	――		
	照明取付用	――			2本	――				
柱キャップ		――		2枚	――	1枚 ポール取付済	2枚	1枚 ポール取付済	1枚 ポール取付済	
ドアホンカバー		――			1枚(両面テープ付)		――			
施工説明書・取扱説明書		各1(共通)								
表札チラシと注文はがき		1(共通)								

※ ドアホン、カメラドアホンを取り付けしない場合は、目隠しパネル(別売)を取り付けてください。

製品納まり図

※ポスト・ドアホン・宅配ボックス・表札は別売となります。



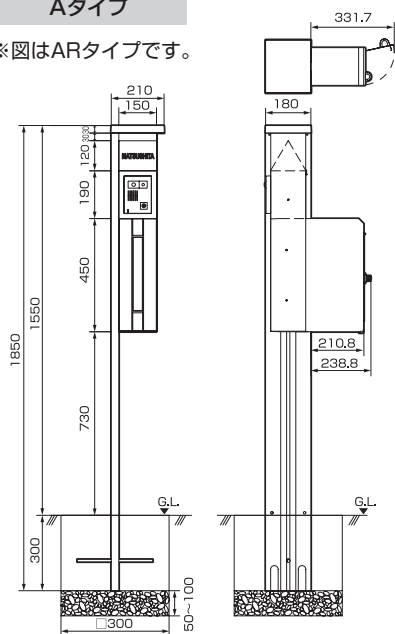
製品納まり図

※ポスト・ドアホン・宅配ボックス・表札は別売となります。

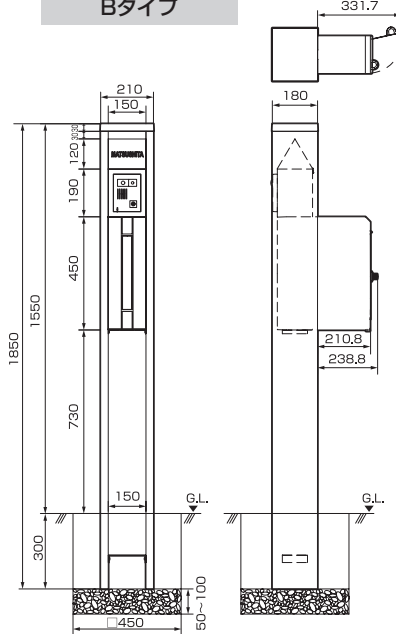
FASUS-VL (FR)

Aタイプ

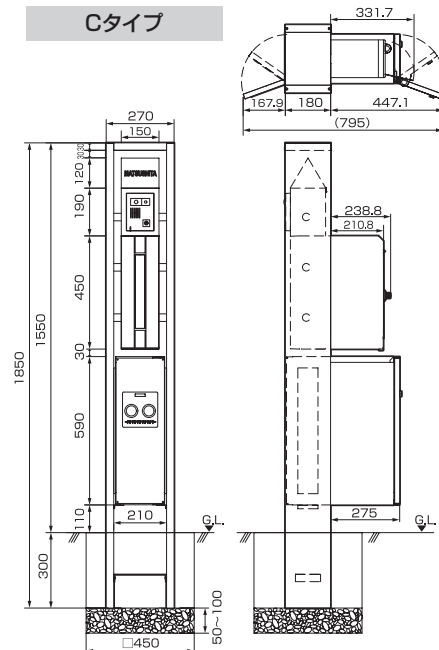
※図はARタイプです。



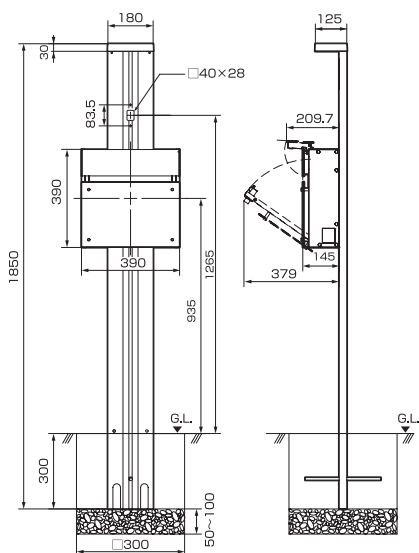
Bタイプ



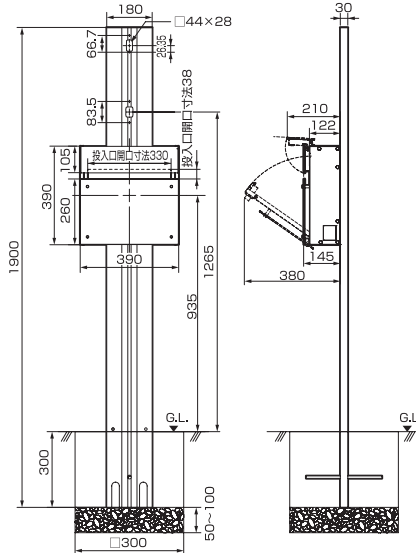
Cタイプ



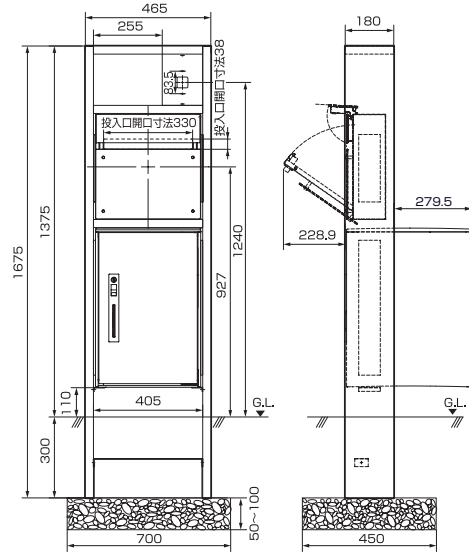
Dタイプ



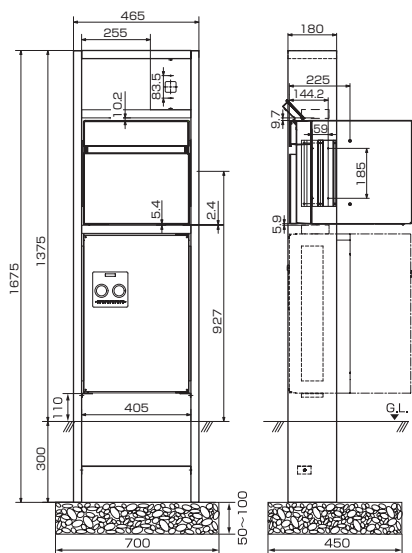
Eタイプ



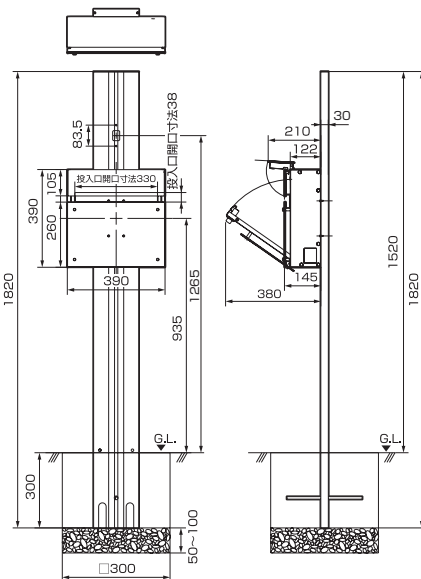
Fタイプ (前入れ・前出し)



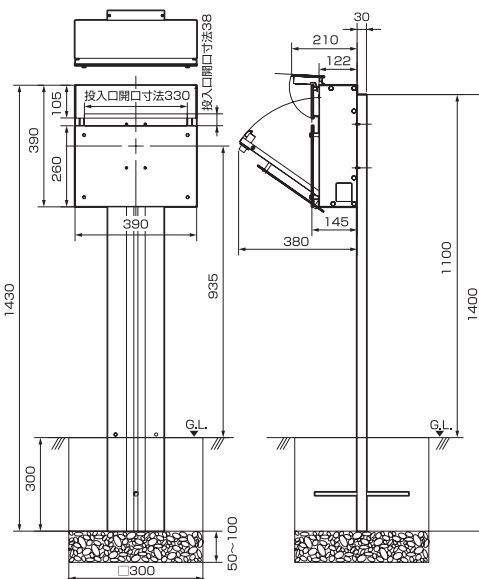
Fタイプ (前入れ・後出し)



Gタイプ (ドアホンあり)



Hタイプ



FASUS-FF ※図はフラットタイプです。

施工前の確認（「照明(LEDユニット)」「ドアホン・カメラドアホン」をつける場合）

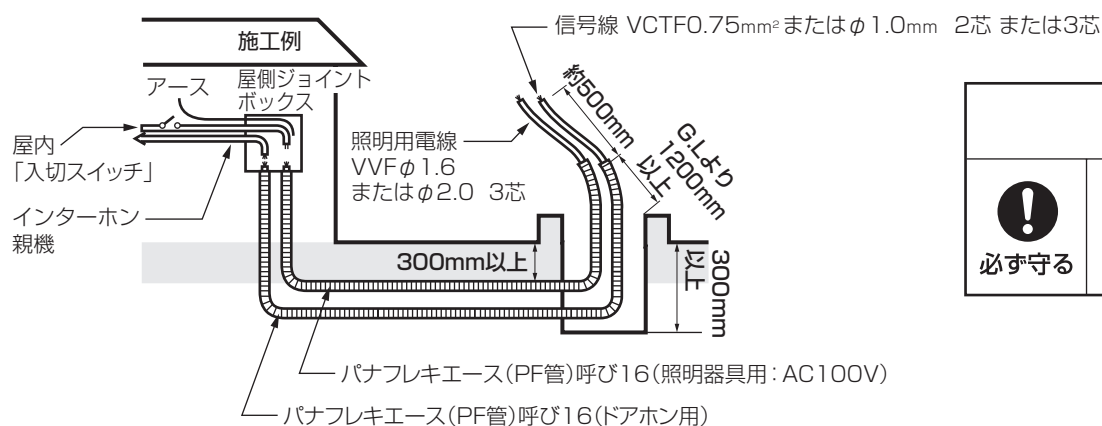
電気配線工事

はじめに

- 電気配線工事は専門の電気工事店にご依頼ください。
- 照明用電線と信号線は電線管による離隔が必要です。
- 照明用電線は、VVFφ1.6またはφ2.0の3芯単線（アース線含む）信号線（ドアホン、カメラドアホン用）は、VCTF0.75mmより線またはφ1.0単線2芯または3芯を準備してください。
- 接地工事は、電気設備の技術基準に従い、確実に行ってください。
- 室内に「入切スイッチ」を別途に設けてください。

配管工事（各部材は現場手配となります）

- ポール建て位置へあらかじめPF管を埋設してください。



注意



電線管(PF管)埋設工事については、内線規定にしたがう

ポール施工前のご確認事項

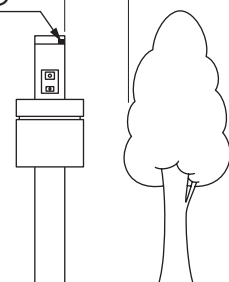
天板(LEDユニット付)は明るさセンサー(自動点滅器)が内蔵されています。

次のような場所には取り付けないでください。(明るさセンサー誤動作の原因となります。)

- 昼間でも暗い場所・・・明るいうちに点灯し、朝、消灯が遅くなることがあります。
- 夜間でも明るい場所・・・点滅したり、点灯しないことがあります。
- 車のヘッドライトや他の照明の光が明るさセンサーに直接あたる場所・・・点滅することがあります。
- 明るさセンサーに自然光が入りやすい向きに器具を取り付けてください。
- 天面、側面から50cm以内に障害物がないように取り付けてください。
(障害物があると部材の交換ができなくなります。)
- 明るさセンサー側は器具側面から50cm以内に障害物がないように取り付けてください。
(障害物があると点滅を繰り返すことがあります。)

明るさセンサー

50cmはなす



明るさセンサー側は50cm以内に障害物がないよう取り付けてください。
また、植栽などは50cm以内にならないよう定期的に手入れをしてください。

お願い

- 明るさセンサーの位置は各タイプにより異なります。
各タイプの明るさセンサー位置を確認ください。
(8ページ参照)

施工手順

〔寸法単位：mm〕

ポール本体の施工〈Fタイプを除く〉（ポール本体と天板は別梱包となっております。）

1 埋め込み穴の確保

- 決められた寸法の基礎穴を掘り、本体内水溜まり防止のため、50～100mmの栗石を必ず敷く。

2 配管工事 ❶ 電気工事店様にご依頼ください。

- ポール内部に配線するために、電源線（照明用）および信号線（ドアホン子器用）を通したPF管をあらかじめ立ち上げておく。
PF管：GLより500mm以上
信号線：照明やドアホン高さまで届く長さを必ずご確認ください。（推奨：PF管端部より1200mm以上）

3 エントランスポール本体を立てる

- PF管内の電線を引き上げて、照明・ドアホン用の穴に通す。（右図参照）
- ポールを立て、埋め込み位置、高さ、垂直度、水平度を調整し、添え木などで固定する。

4 埋め戻し

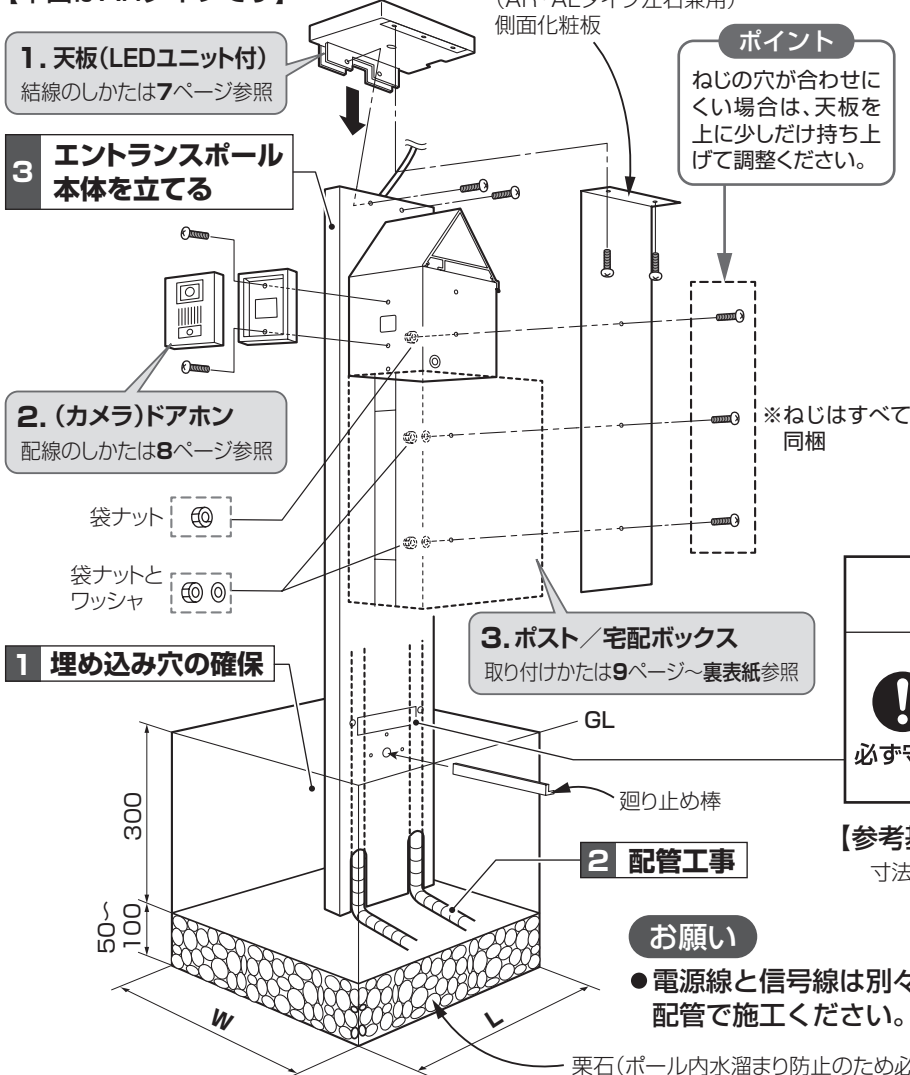
- コンクリートで埋め戻し固定する。

⚠ 注意



GLラインより深く埋め込まない
雨水の浸入により漏電、感電、故障、腐食などの原因となります。

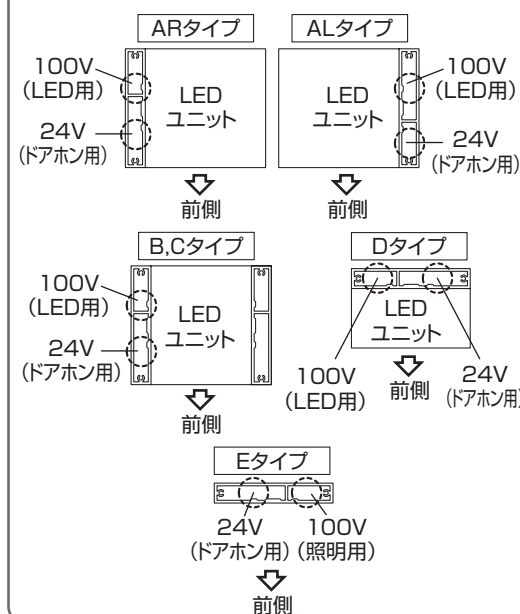
【本図はARタイプです】



■電線管（電線）の通しかた

※天板（LEDユニット付）の場合

- 下図はすべてポール上部から見た図です。
- 通線用の針金があらかじめ通してあります。



■各部位の施工 ➡ 7ページ～裏表紙へ

1. 天板（LEDユニット付）との結線
2. （カメラ）ドアホン子器への配線
3. ポスト／宅配ボックスの取り付け
（宅配ボックスはCタイプのみ取り付け可能です）
・AR、AL、B、Cタイプ：サインポスト VL型
・D、Eタイプ：サインポスト フェイススFF
・Cタイプ：宅配ボックス（スリムタイプ）

⚠ 注意



必ず守る

- 水抜き穴をコンクリートや土砂でふさがない
- 雨水の溜まりにより漏電、感電、故障、腐食などの原因となります。
 - 万が一埋めた場合はGLより上に同一形状で追加の穴を必ずあけてください。

【参考基礎寸法】

寸法単位：mm

	W × L	商品寸法(柱)
Aタイプ	300×300	30×180
Bタイプ	450×450	210×180
Cタイプ		270×180
Dタイプ	300×300	180×30
Eタイプ		
Gタイプ		
Hタイプ		

お願い

- 電源線と信号線は別々の配管で施工ください。

施工手順

〔寸法単位：mm〕

ポール本体の施工〈Fタイプのみ〉（ポール本体と天板は別梱包となっております。）

1 埋め込み穴の確保

- 決められた寸法の基礎穴を掘り、
本体内水溜まり防止のため、
50～100mmの栗石を必ず敷く。

2 配管工事

❗ 電気工事店様にご依頼ください。

- ポール内部の決められた高さまで電源線（照明用）および
信号線（ドアホン子器用）用PF管をあらかじめ立ち上げておく。
（GLより500mm以上）

3 本体（天板、ポスト、宅配ボックス）を組み立て、ポールを立てる

- PF管内の電線を引き上げて、照明・ドアホン用の穴に通す。（右図参照）
- 埋め込む前に、天板、ポスト、宅配ボックスを取り付ける。
（埋め込み後では、取り付けられなかったり、
段差やすき間が生じるおそれがあります。）
- ポールを立て、埋め込み位置、高さ、垂直度、
水平度を調整し、添え木などで固定する。

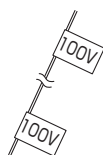
4 埋め戻し

- コンクリートで埋め戻し固定する。

⚠ 注意



GLラインより深く埋め込まない
雨水の浸入により漏電、感電、故障、
腐食などの原因となります。



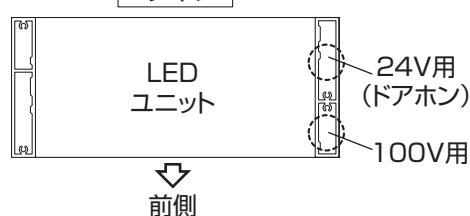
あらかじめ通し
てある通線用の
針金をご利用
ください。

■電線管（電線）の通しかた

※天板（LEDユニット付）の場合。

- 下図はすべてポール上部から見た図です。
- 通線用の針金があらかじめ通してあります。

Fタイプ



【本図はFタイプです】

※ねじはすべて同梱。

3 本体を組み立て、ポールを立てる

※先に天板、ポスト、
宅配ボックスを
取り付け。

2. (カメラ)ドアホン

配線のしかたは8ページ参照

1. 天板（LEDユニット付）

結線のしかたは7ページ参照

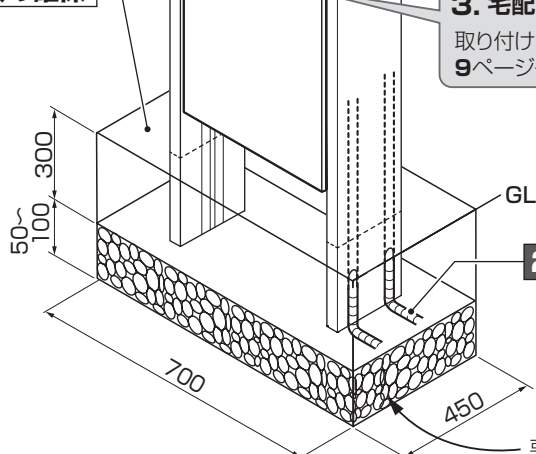
3. ポスト

取り付けかたは
9ページ～裏表紙参照

3. 宅配ボックス

取り付けかたは
9ページ～裏表紙参照

1 埋め込み穴の確保



2 配管工事

栗石（ポール内水溜まり防止のため必ず敷く）

■各部位の施工 ➡ 7ページ～裏表紙へ

※ポールを埋める前に必ず取り付けてください。

1. 天板（LEDユニット付）との結線

2. (カメラ)ドアホン子器への配線

3. ポスト／宅配ボックスの取り付け

・Fタイプ：宅配ボックス
（コンバーハフタイプ・ミドルタイプ）

⚠ 注意



**水抜き穴をコンクリートや土砂で
ふさがない**

- 雨水の溜まりにより漏電、感電、
故障、腐食などの原因となります。
- 万が一埋めた場合はGLより上に
同一形状で追加の穴を必ずあけて
ください。

【参考基礎寸法】 寸法単位：mm

	W × L	商品寸法(柱)
Fタイプ	700 × 450	465 × 180

施工手順

〔寸法単位：mm〕

各部位の施工

1. 天板(LEDユニット付)との結線(50/60Hz共用)

① 接地工事は、電気設備の技術基準に従って確実に行ってください。

⚠ 注意



取り付けの際は、安全のため電源を切る
通電状態で行うと感電の原因となります。

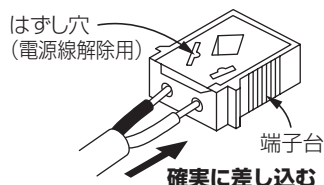
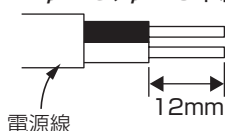
お願い

- 電線は確実に奥まで差し込んでください。
- 張力止めで電源線を固定してください。

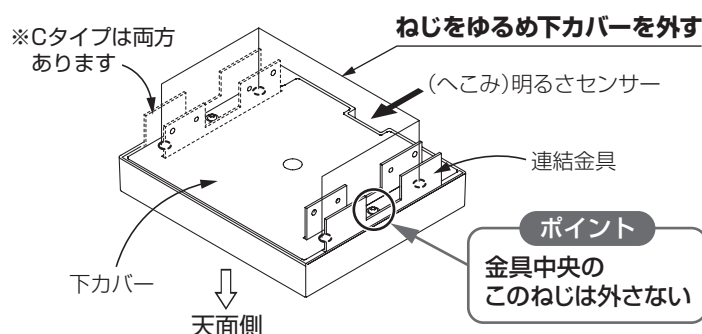
- ① ねじを外し、下カバーを外す。
※連結金具「中央のねじ」は外さないでください。

- ② 端子台に電源線(AC100V)を接続する。

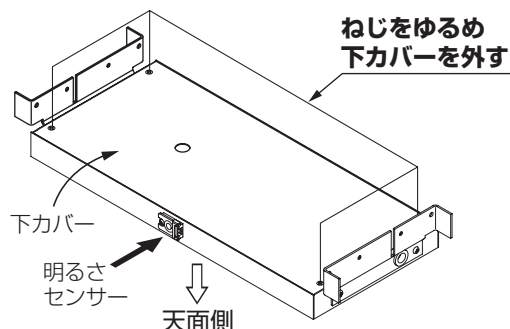
適合電線
VVFφ1.6、φ2.0単線



A～Dタイプ

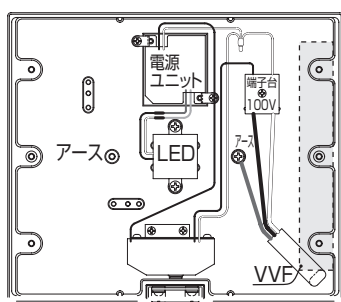


Fタイプ

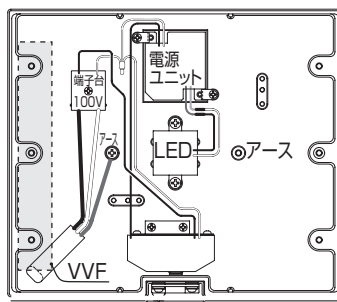


■配線状態

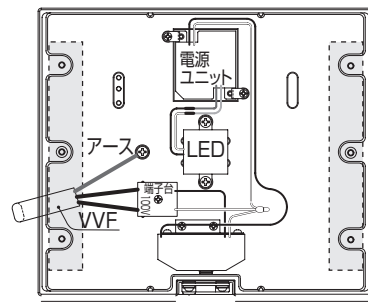
ALタイプ



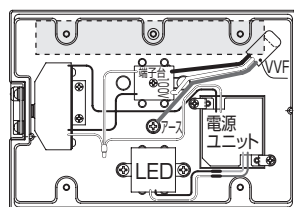
ARタイプ/Bタイプ



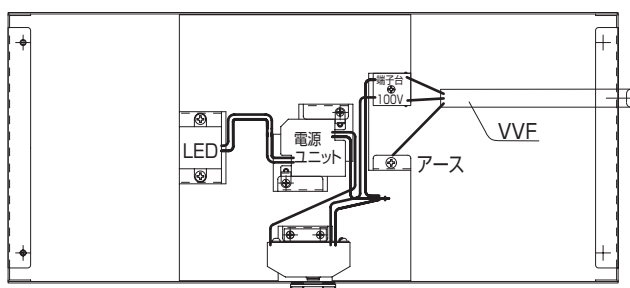
Cタイプ



Dタイプ



Fタイプ



施工手順

〔寸法単位：mm〕

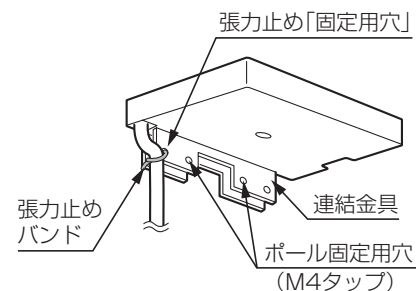
④ ポールへ取り付ける。

〈A～D、Fタイプ〉

④－1 ①で外した下カバーを元にもどしねじで固定する。

④－2 張力止め(下カバーに添付)で電源線を連結金具の固定用穴に固定する。

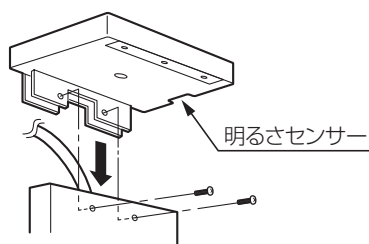
④－3 天板(LEDユニット付)の連結金具をポールに差し込みねじで固定する。



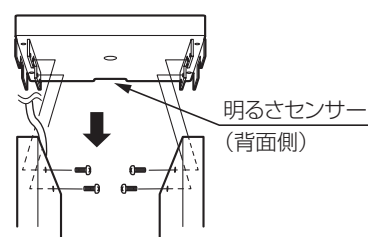
お願い

- ねじの締め付け不足にご注意ください。
- がたつきやすき間など故障の原因になります。

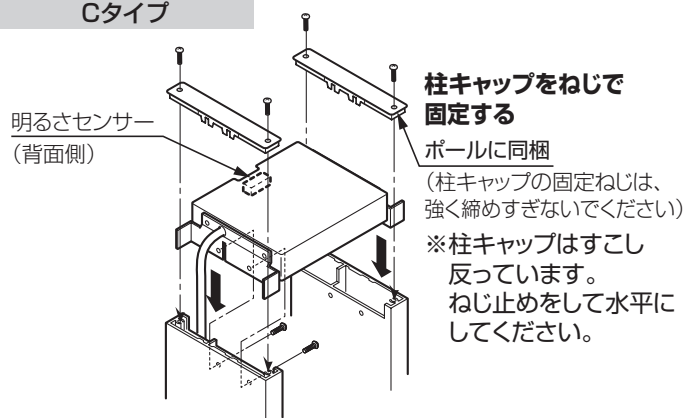
Aタイプ/Dタイプ



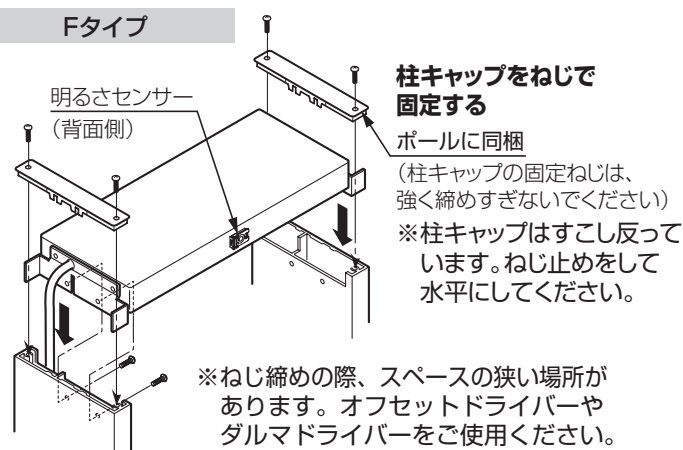
Bタイプ



Cタイプ



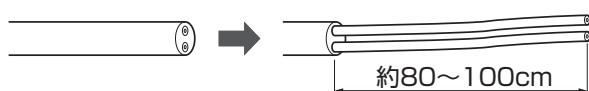
Fタイプ



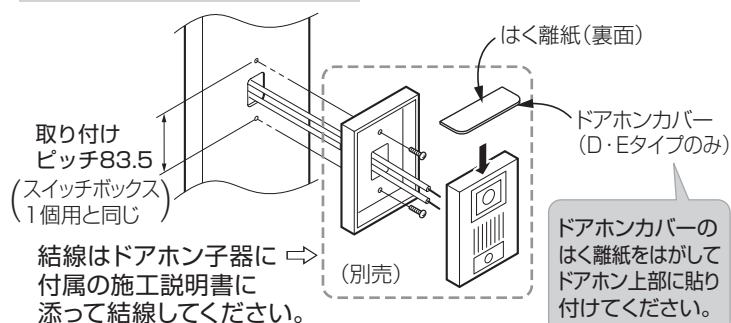
2. 〈カメラ〉ドアホン子器への配線

通線をしやすくするポイント

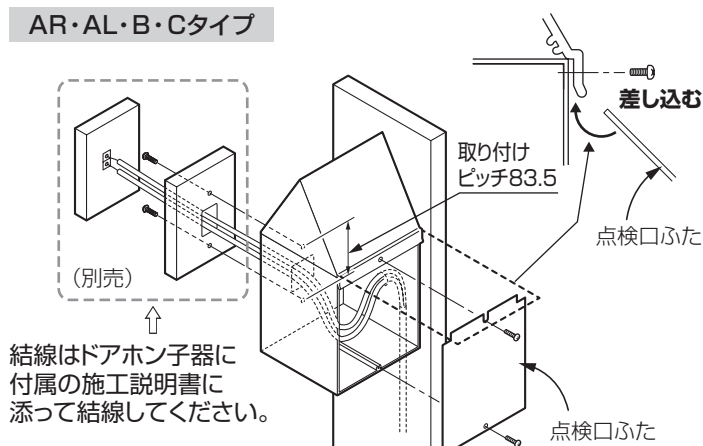
コードは、先端部を約80cm～100cm程外皮を取り除いてポール内に配線してください。
(2芯または3芯)



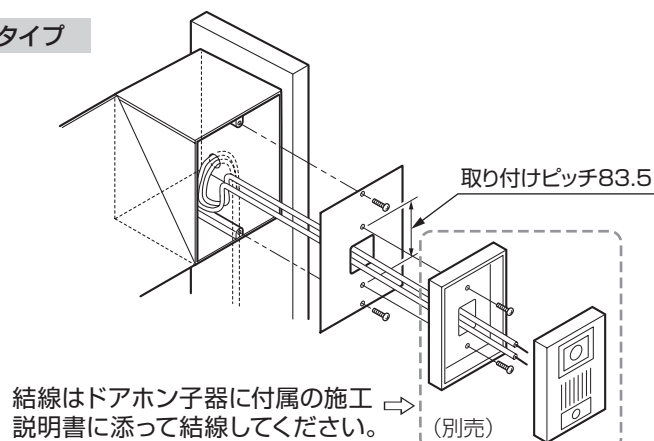
D・E・G (ドアホン有) タイプ



AR・AL・B・Cタイプ



Fタイプ



3. ポスト／宅配ボックスの取り付け

■タイプ別取り付け可能製品

AR、AL、Bタイプ	サインポスト Pakemo-VL(別売)／フェイスVL(別売)
D、E、G、Hタイプ	サインポスト フェイスFF(別売)
Cタイプ	サインポスト Pakemo-VL(別売)／フェイスVL(別売) 宅配ボックス(スリムタイプ)(別売)+ 専用取付アダプター(別売)
Fタイプ	サインポスト フェイスFF(別売) サインポスト フェイスNFR(別売)+ ポストNFR取付金具(別売) 宅配ボックス(ハーフタイプ・ミドルタイプ)(別売)+ 専用取り付けアダプター(別売)

AR／AL／Bタイプ／Cタイプ (サインポスト Pakemo-VL／フェイスVL) の取り付けかた

	FF(前入れ前出しタイプ)	FR(前入れ後出しタイプ)
Pakemo-VL		
フェイスVL		

① 側面のノックアウト穴を片側2か所(計4か所)抜く。

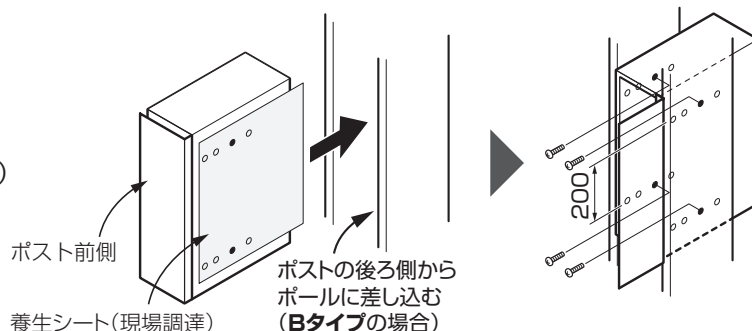
(φ4.5～φ5.0程度)

② ポストの中からねじ止める。(片側2か所、計4か所)

※ねじはポールに取り付けてあります。(なべねじM4×10)

※ポスト本体に傷つかないように注意してください。

(本体を養生してからポストを差し込んでください。)



Cタイプの場合

① ポストの後ろ側からポールに差し込む。

② ポールからキズ防止シートを抜き取り、ポストの中からねじ止める。(片側2か所、計4か所)
※ねじはポールに取り付けてあります。(なべねじM4×10)



施工手順

〔寸法単位：mm〕

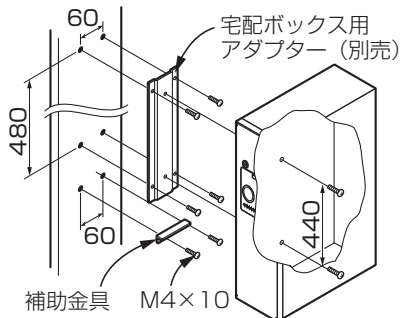
Cタイプ(宅配ボックス)の取り付けかた ※別売(品番：CTPR17301)の宅配ボックス取り付けアダプターセットが必要です。

① 側面に穴をあける。

フェイスVLと組み合わせる場合	Pakemo-VLと組み合わせる場合
側面のノックアウト穴を片側2か所(計4か所)抜く。 ($\phi 4.5 \sim \phi 5.0$ 程度) ※ノックアウト穴を使用します。	側面にドリルで穴を片側2か所(計4か所)あける。 ($\phi 4.5 \sim \phi 5.0$ 程度) ※ノックアウト穴は使用しません。

② 宅配ボックス用アダプター、補助金具をポールに取り付ける。 ※ねじはポールに取り付け済みです。

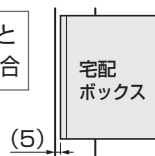
③ 宅配ボックスの中から 手を入れて、宅配 ボックス用アダプター にねじで固定する。



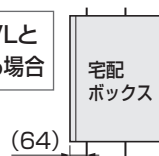
宅配ボックスとポールの穴を一致させるポイント

ポール前面から宅配ボックス前面までの距離を確認してください。

フェイスVLと
組み合わせる場合



Pakemo-VLと
組み合わせる場合

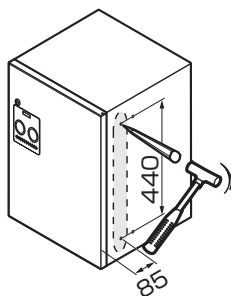


Fタイプ(宅配ボックス)の取り付けかた ※別売(品番：CTPR17301)の宅配ボックス取り付けアダプターセットが必要です。

① 側面のノックアウト穴を片側2か所(計4か所)抜く。($\phi 4.5 \sim \phi 5.0$ 程度)

COMBO

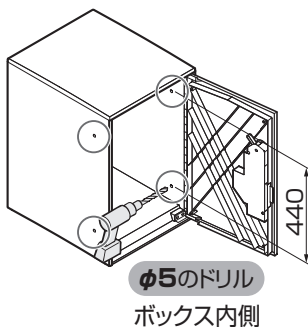
ハーフタイプ FF/
ミドルタイプ FF・FR



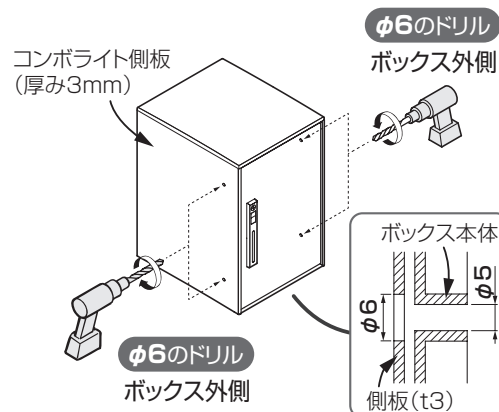
COMBO-Light

注意 コンボライト本体まで穴をあけないようにご注意ください。(側板の熱伸縮吸収のためです。ボックス内まで穴を貫通させないでください)

① $\phi 5$ のドリルでコンボライトのボックス内部の穴からコンボライト側板に穴を開ける。
ボックス内にはガイド穴があります。そのガイド穴を使って内側からドリルで開けてください。



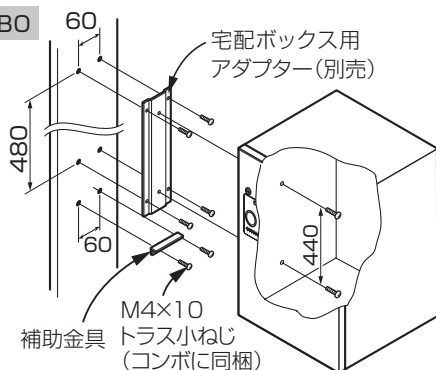
② コンボライトのボックス外側からコンボライト側板に $\phi 6$ のドリルで穴を開ける。



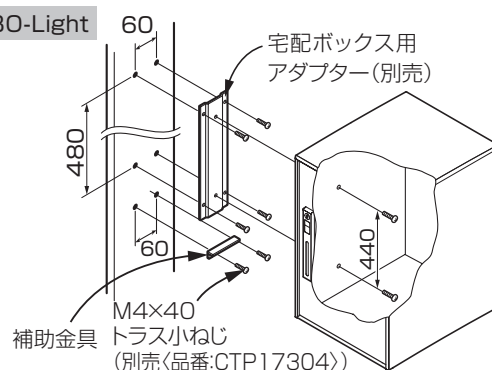
② 宅配ボックス用アダプター、補助金具をポールに取り付ける。 ※ねじはポールに取り付け済みです。

③ 宅配ボックスの中から 手を入れて、宅配 ボックス用アダプター にねじで固定する。

COMBO



COMBO-Light



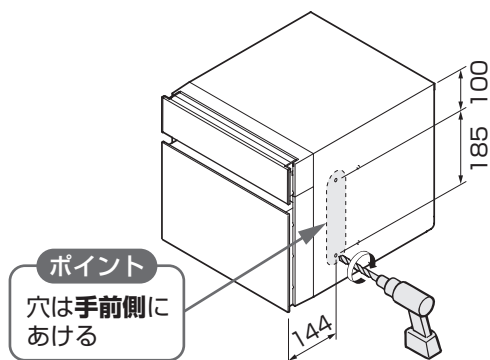
施工手順

〔寸法単位：mm〕

Fタイプ (サインポスト フェイサスNFR) の取り付けかた 前入れ・後出しの場合

- ① 側面にドリルで穴を片側2か所(計4か所)あける。(φ5.0程度)

お願い ●ポスト内側のバリをきれいに
取り除いてください。



- ② ポールを寝かせて、
付属のポスト用アダプターから

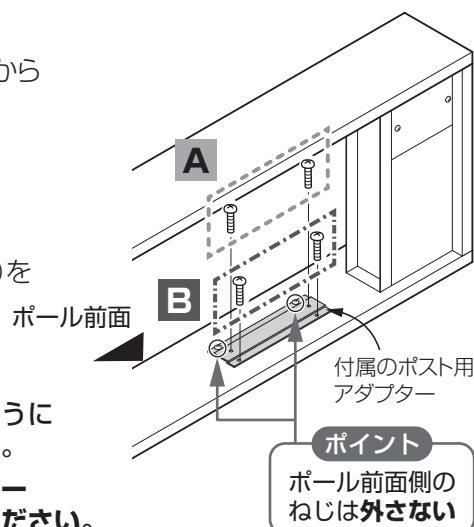
A アダプター取付ねじ
(M4×10なべ小ねじ)

B ポスト取付用ねじ
(M4×10トラスねじ)

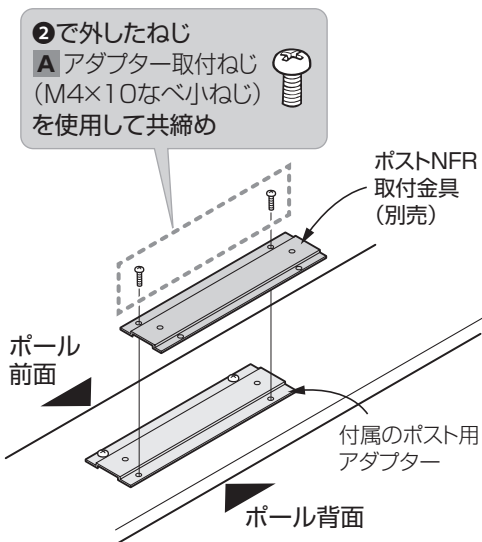
(各片側2か所、計4本ずつ)を
取り外す。

注意

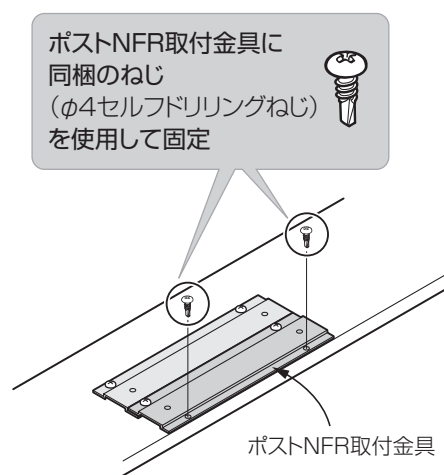
- ポールに傷がつかないように
地面に養生してください。
- ポール前面側のアダプター
取付ねじは外さないでください。



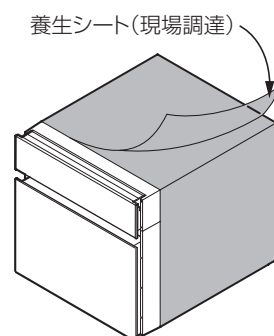
- ③ ②でポスト取付用ねじを抜いたポスト用
アダプターのねじ穴と、ポストNFR取付
金具のねじ穴を重ね合わせて共締めする。



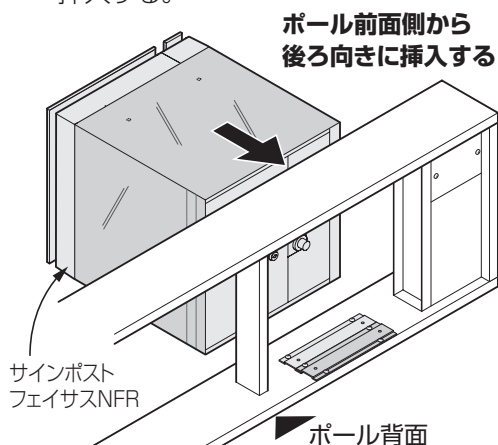
- ④ ポストNFR取付金具を、
取付金具に同梱のねじで
ポール本体に固定する。



- ⑤ サインポストフェイサスNFR
本体に傷がつかないように
保護をする。

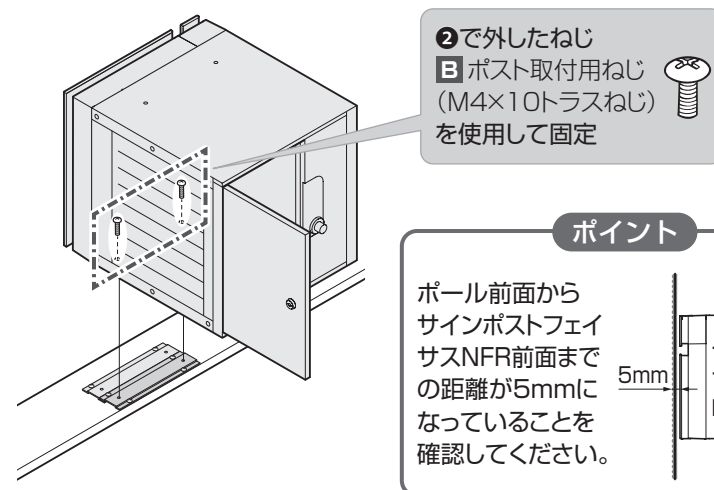


- ⑥ ポールにサインポストフェイサスNFRを
挿入する。



※挿入後、養生シートは外してください。

- ⑦ ポストの中からポストNFR取付金具にねじで固定する。
(片側2か所、計4本)

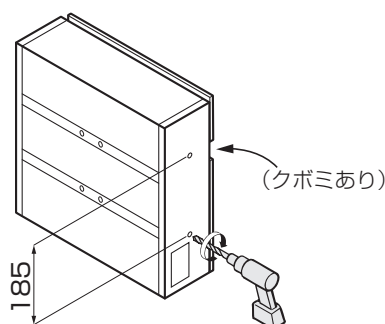


施工手順

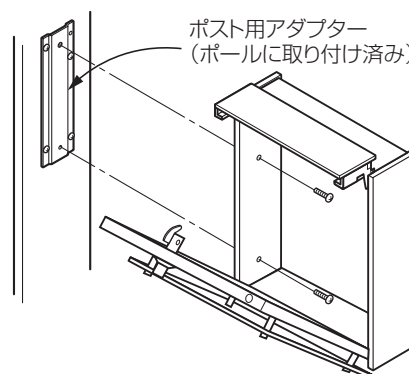
〔寸法単位：mm〕

Fタイプ (サインポスト フェイサスFF) の取り付けかた 前入れ・前出しの場合

- ① 側面にドリルで穴を片側2か所(計4か所)あける。
($\phi 4.5 \sim \phi 5.0$ 程度)
※下記寸法位置にクボミがありますので目印にしてください。

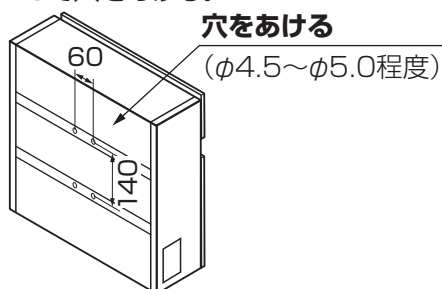


- ② ポストの中からねじ止めする。(片側2か所、計4か所)
※ねじはアダプターに取り付けてあります。(トラスねじM4×10)

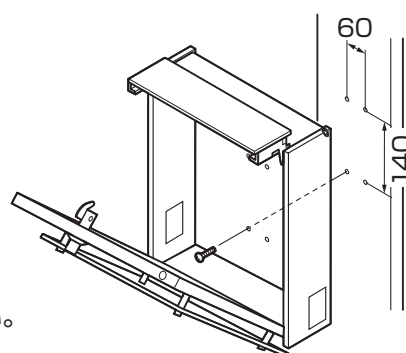


Dタイプ/Eタイプ/Gタイプ/Hタイプ (サインポスト フェイサスFF) の取り付けかた

- ① サインポストのくぼみに、寸法を確認の上、
60×140で穴をあける。



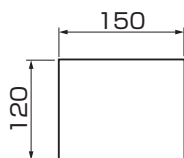
- ② ポストの中からねじ止めする。(計4か所)
※ねじはポールに取り付けてあります。(なべねじM4×10)



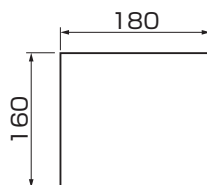
- お願い ●先にドアホンを取り付けてからポストを取り付けてください。
(ポストを先に取り付けるとドアホンが取り付けにくくなります。)

■表札取り付けスペース

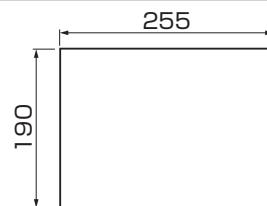
A～Cタイプ



D・E・Gタイプ



Fタイプ



施工後の確認

- 各部のねじのゆるみがないか確認してください。
- 照明器具(オプション)が点灯するか確認してください。
- (オプション)ドアホン子器・カメラドアホン子器が正常に作動するか確認してください。

- お願い ●カメラドアホン子器については、適正な映像範囲が得られているか、実際に作動し確認してください。

- 宅配ボックスをお取り付けの場合、扉・なつ印装置に不都合がないか確認してください。
- 取扱説明書・表札チラシ・ご注文カードをお施主様にお渡しください。

商品改良のため、仕様、外観は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

パナソニック ハウジングソリューションズ株式会社
外廻りシステム事業部

〒571- 8686 大阪府門真市大字門真1048番地

© Panasonic Housing Solutions Co.,Ltd. 2023

214-EP166S
D0419-6043